

いなさの風

No.34

令和7年 7月8日

〒852-8011 TEL095-861-2650

長崎市稲佐町11番1号
長崎市立稲佐小学校長
岡田 政宏



学校教育目標 **たくましく未来を切り拓く子どもの育成**
「なりたい自分になる」 いなさっ子の**学びの多様化**に応える

自他の命を大切に

長崎っ子の心を見つめる教育週間

6月の第4週は、命を見つめる教育週間でした。初日の24日の集会では、子どもたちが「この地域で実際に30年前に発生したいじめによる自死事件について紹介しました。そして、傷付けたら傷付いたりする心が脳の前頭葉にあること。その発達には4才頃から始まり、9才前後に発達の加速が始まること。加速して脳が発達する時期が小学校時代なのだから、刺々しい冷たい言葉ではなく、心がほっこりするような温かい言葉を意識して言ったり、聞いたたりしてほしいこと。等を語りました。1年生には少し難しい話でしたが、真剣に聞いてくれました。

28日の土曜授業では、道徳の授業参観の後、学校保健委員会主催の講演会を実施。諫早市在住でカラダコンディショニングサングス代表の杉野伸治さんに、「目標達成のために必要な生活習慣」と題して、子育てを科学的に行うためのヒントになるお話をいただきました。ここでも感情コントロールを担う「前頭野」の話があり、これを守り育てるために大事な「睡眠」「食事」「読書」や会話等の在り方は大変参考になりました。引き続き、自然災害や不審者対応を想定した「引渡し訓練」を実施しました。昨年度、実際に不審者情報により「引渡し」を実施した際、電話がパンクし、学校内の内線も通じ辛く、情報の把握に皆が困ったことが反省点でした。そこで、今回は、クラウド環境内にメッセージを投稿できる機能を活用してみました。終了後の反省会では、さらに「全クラス」の状況をオンライン会議で共有する「質問や確認事項は、マイクを通じて伝え合う」などの意見が出されました。期間中には、教職員による「防犯研修」と「救命救急研修」も行いました。(動画参照)

救命救急研修

防犯研修

～教職員研修の一環をお見せします～

教育週間(授業参観)

※ホームページでは公開しません。

教材費前期キャンセル集金完了

初めての試みでしたが、学校で各担任が現金を徴収することなく、市教育委員会の振替を原則に集金し、業者への支払いが完了しました。ありがとうございました。実は、この一連の手続きは、校長である私一人がパソコンで入金金を確認しながら進めてきました。これにより、各担任の「集金」「確認」「支払い」「会計簿作成」といった業務が削減でき、子どもと向き合う時間や授業を充実させるための準備などに充てる時間が少なくなりました。確保されました。しかし、まだまだ初回ということもあり課題もありません。まずは、「市教委振替時に10家庭ほど残高不足で処理できなかったこと」「督促の通知(封筒)を

上手く確認いただけなかったこと」です。遅延防止法により、業者へは納品から原則60日以内に支払うことになっていますが、集金がスムーズにいかないと支障が出ます。また、4月上旬に計画書を市教委に提出しないと、追加で教材が必要になり、集金が間に合わなかったこと※①に関しては、今後も想定されまので、これまでお願いしてまいりました「振込手数料を無料にする協力(十八親和アプリやネット銀行等)」を進めていただきますよう重ねてお願いします。2学期には、調査をさせていただき、支障がないようであれば、臨時振込をお願いするかもしれません。

先生

No.30



今回は、6年2組担任の○○○(○○○○)先生です。小学校の時、学校が大好きだったので、ここで働いたら楽しいだろうなあと考えたのが教職を目指すきっかけ。(私と同じ！学校は楽しくなくっちゃ!!)家庭に帰ると、Akoや星野源の音楽が大好きな、二人の子どものお母さん。会話のキャッチボールができるようになった3才の息子さん、言葉覚え始めた1才の娘さん。この子たちと話しながら

家に帰るときが至福の時間だとか。自称「大ざっぱな性格」とのこと、大学生のとき献血に行くまで、自身の血液型をO型と信じていたそう。(実はA型です!!)大きなケガをしなくてよかったですね。

雨降る日があるから虹が出る
苦しみ抜くから強くなる

しし座

○○先生

ケセラセラ

また小学校の教員が…最近、他県で小学校教員による盗撮など、わいせつ行為で逮捕される事件が続きました。事件を起こしたのは●●教諭ですが、世間は「小学校の教員は…」と見ます。世の中の大半の小学校教員は、そんなこと微塵も関わりがないのに、とても悲しくなります。このような事件が起こったとき、一番の心配事は、被害にあった子どもたちの心に将来に渡る悪影響が及ばないかということ。次に、その保護者の皆さんのやり場のない怒りや悲しみから、人間不信になりかねないこと。そして、日本全国の頑張っている小学校教員のモチベーションが下がることです。本校では、職員に対して「更衣をする場所やトイレなど、不審なものが置かれていないか意識することを意識してほしい。」「わいせつ行為は、子どもたちや保護者のみならず、自身の家族、そして頑張っている教員全体に対してとても悪い影響を与える。」などを伝えており、毎年、全職員が自分自身を戒めるためにも、「心と性に関するセルフチェック」を実施しています。

蒲鉾工場見学(3年)

福祉体験(4年)

地域のイベント

盆踊り ラサク線・ポチャ

